

平成30年11月16日  
農業技術センター技術普及部

標 題	雲南市で有機農業をテーマとした食育講座(第2、3回)を開催しました
-----	-----------------------------------

技術普及部では東部農林振興センター雲南事務所、雲南市と合同で食育講座を開催しています。今年度第2、3回目の講座を開催したところ、乳幼児のお母さんが定員一杯の10名参加され、雲南市の有機農業の歴史や牛乳生産などの取組み、そして有機農産物などの食材を利用した調理法について学ばれました。

技術普及部では生産支援と並行して、消費者へ「環境と食べ物を考える」という食農教育の視点の一つを取り入れた食育活動を行っています。今年度は第1回(普及情報No.104、9月27日)に続き、第2回、第3回雲南食育講座を開催しました。

10月5日の第2回講座では、木次乳業(有)の佐藤専務を講師に迎え、日登牧場の見学と木次乳業の取組みを説明して頂きました。牧場では乳牛ブラウンスイス種の放牧の様子や、牛舎を広くするなど牛を生き物として大切にした飼育法を見学しました。次に座学では昭和30年代から続けている有機農法で育てた牧草による飼育や、牛乳本来の味を残したまま栄養吸収を高めることができるとされるパステライズ製法などを学びました。



【写真 見学の様子】

11月8日の第3回講座では、松江市を中心に活躍中の伊藤管理栄養士を講師とし、有機農産物等を使用した調理実習を行いました。素材の味を十分に活かしながら、乳幼児の年齢別に離乳食の調理法を教えてくださいました。また食材の野菜、豆腐、豆乳は全て雲南市と奥出雲町産を用意し、その生産者と商品を紹介することで、地元農産物のPRの場にもなりました。



【写真 完成した離乳食】

全3回の食育講座を通じて、参加者からは「農業や畜産の地元生産者の思いや農法を知ることができて良かった。有機栽培という言葉は知っていたが、今回理解できて良かった。今後は有機農産物などを積極的に使いたいと思う。」といった感想が聞かれ、環境への負荷をできるだけ低減した農業への理解が進み、有機農産物等の消費を促す機会となりました。